

平成 28 年 9 月 28 日
練馬区地域医療課

介護老人保健施設の調査研究の継続について

1 概要

多職種による介護老人保健施設（以下、老健という）の理解促進を目的として、区内の老健職員でワーキンググループ（以下、WG という）を設置し、全 3 回の検討を重ねた。来年度以降も同様に、抽出した課題に対する対応について引き続き検討を行っていく。

2 検討の経過

検討回	参加者	実施概要
事前調査 (4月)	病院スタッフ・在宅医・ケア マネジャー等 9名	・施設利用の課題や老健に期待する機能について、グループ インタビューを実施。
第一回 WG (6月)	区内老健を運営する 12 法人 (施設長・事務長・リハビリ部 長等)	・事前調査および問題意識の共有、課題の抽出を実施。 ①老健の認知度不足 ②他職種との交流の少なさ
第二回 WG (7月)	同上	・情報発信のコンテンツ作成等、具体的な対応について検討。
第三回 WG (9月)	同上	・前回に引き続き、課題に対しての対応案を検討。

3 老健の利用促進を図るうえでの課題および対応案

課題	対応案
利用者側（区民および老健を利用する多職種） による老健の認知度の向上	老健の認知度向上へ向けた資料の作成 ①区民向けの周知用資料の作成 ②事業者向けの周知用資料の作成
他職種との交流機会の加増	老健職員と他スタッフによる交流の場作り

4 老健の調査研究における報告書について

本年度の報告書は、来年 1 月の在宅療養専門部会において提出する。